

《 第19回勉強会 ワークショップのご案内 》

演 題：『すぐに役立つ！化粧品処方開発のための基礎知識と実際』

～ 界面化学を応用した斬新な処方開発へのアプローチ ～

日本化粧品技術者会 大阪支部

幹事長 椿原 操

部会長 前川 喜美

平素は日本化粧品技術者会大阪支部の活動に、ご支援、ご参加を頂き有難うございます。

今回の勉強会は、若手研究員の皆様に、処方開発にすぐに役立つ基本と応用テクニックを身に付けていただき、スキルアップを図っていただくことを目的として、企画いたしました。

実際の製品開発の上で、処方開発技術は、最もベーシックな部分でありながら、新しくユニークな外観や感触などを追求し表現できる要素として、大変重要な役割を担っているといえます。

乳化や可溶化、ゲル化など界面化学に関して、深いご見識と豊富なご経験をお持ちである二人の先生をお招きして、基礎と応用と両面でご教示頂きます。スキンケア製品だけでなく、メイクアップやトイレットリー製品の処方開発を担当されている方にも、またとないレベルアップのチャンスとなることを確信いたします。

どうぞ奮ってご参加いただきますようお願い致します。

記

日 時： 2013年 3月 6日(水) PM 1:00 受付 6Fロビーにて

場 所： 薬業年金会館 601号室 (谷町6丁目駅下車C階段4番出口)

<http://www.dy-net.or.jp/kankei/nenkin.htm>

スケジュール

1. 1:30 開会の挨拶
- 1:35-2:50 講演1「乳化・可溶化の基礎と化粧品処方開発のための応用ポイント」
鈴木 敏幸氏 /工学博士 ニッコールグループ(株)コスモステクニカルセンター
執行役員、東京理科大学客員教授
- 乳化、可溶化に欠かせない界面活性剤の基礎と応用技術について、以下の観点から解説を行なう。
- ・乳化、可溶化の違いは？
 - ・乳化と可溶化に欠かせない界面活性剤の挙動と会合体の形成
 - ・相図の基本(読み方、作り方)と乳化、可溶化系への応用のしかた
 - ・最適乳化、可溶化条件を知る方法
 - ・実用系における応用例：機能賦与のための会合体の用い方
- <10分休憩>
- 3:00-4:15 講演2「コンセプトからはじめるエマルション製剤開発」
早瀬 基氏 / ㈱カネボウ化粧品 スキンケア研究所 商品設計第2グループ
- エマルションの技術コンセプトを生かして化粧品にある種の価値を付与することもできる。
ここでは応用検討例として、外観や感触に特徴を持ったエマルション、天然乳化剤を用いたエマルションについて解説する。
- <10分休憩>
- 4:25-4:55 パネルディスカッション
- 両先生とパネラー(勉強会委員)による、乳化を中心とした界面化学に関するトピックスや質問のやりとりを通して、処方開発のいろいろなヒントを得ていただきます。

2. 4:55～5:00 閉会の挨拶
＜5分休憩＞

3. 5:05～6:30 情報交流会
※ 服装はカジュアルビジネスとし、ノーネクタイを推奨します

参加費:会員・会員代理 : 3,000円

※ 先着、定員80名となり次第、締め切りとさせていただきますが、
1社様につき、2～3名様まで(但し、各社会員登録されている人数に限る)で、お願い致します。

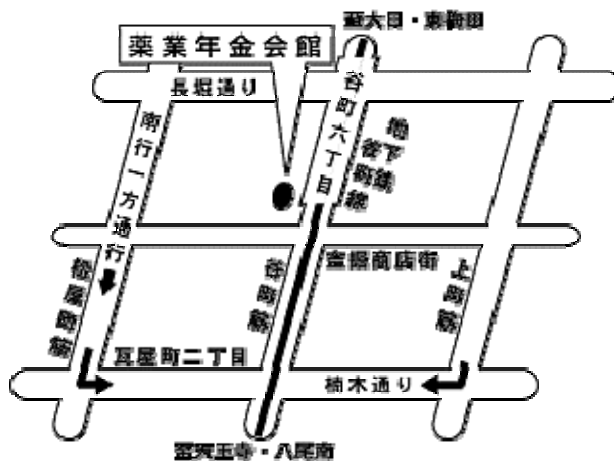
申込方法:下記申込書を FAXまたはメール にて、**2月28日(木)**までに下記宛にお願い致します。

※ 参加証等は発行致しませんが、当日、受付にて参加者名を確認させていただきます。

送金方法:参加費は前納とし、支部名義の下記口座に**2月28日(木)**までにお振込み願います。
尚、振込料は各自でご負担下さい。

口座名:三井住友銀行 大阪中央支店 普通 No.145680
日本化粧品技術者会 大阪支部 会計 立岡 寛次(ツツカ カンジ)

会場地図



問合せ先:日本化粧品技術者会 大阪支部 事務局

〒541-0045 大阪市中央区道修町 1-7-11 岩瀬コスファ(株)内

TEL 06-6231-3459 FAX06-6231-5769 E-mail: osaka@sccj-ifscj.com

以上

申込み先:日本化粧品技術者会 大阪支部 事務局 岩崎 宛 FAX 06-6231-5769

2013年 3月6日 第19回勉強会 ワークショップ 参加申込書 月 日

社名・所属:	TEL:
氏名:	FAX:
	MAIL:
社名・所属:	TEL:
氏名:	FAX:
	MAIL: